



# ももの実

玉北中 校長だより 6 1

「今年度の玉北中は？」

作成日 令和8年8月3日（月）



## 学力調査の結果を受けて1。

先日、3年生で実施した全国学力学習状況調査の結果が送られてきました。これについて、本校指導教諭で倉敷市の授業改革推進員でもある黒瀬早苗先生が、本校の課題に関わるおもな項目についてまとめましたので、本紙にてご紹介します。

### 1. 学力調査について

①国語 平均正答率……………（校内）66% （県）65% （全国）63.9%

●「記述式」においては、県を下回っている。

○「知識・技能」においては、全国・県を上回っている。

・全体的に全国・県と同等である。

・「読むこと」においては、全国・県を上回っているが、無回答率は全国・県を上回っている。

・「話すこと・聞くこと」においては、全国よりは上回っているが、県よりは下回っている。

②数学 平均正答率……………（校内）57% （県）57% （全国）57.0%

●「データの活用」においては、全国・県を下回っている。

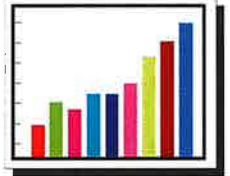
●「思考・判断・表現」においては、無回答率が、全国・県を上回っている。

●「記述式」においては、全国・県を下回っている。

○「数と式」「図形」においては、全国・県を上回っている。

③英語 平均IRTスコア※…（校内）496 （県）495 （全国）499

・「知識・技能」においては、全国・県を上回っているが、「思考・判断・表現」においては下回っている。



### 2. 学習状況について

●「毎日同じくらいの時刻に寝ている」にあてはまる生徒は、全国よりも8.2%少ない。

●「毎日同じくらいの時刻に起きている」にあてはまる生徒は、全国よりも14.1%少ない。

●「昼休みや放課後の学校図書館（メディアセンター）の利用」は、全く行かないが最も多い。ただ、週に4回以上、週に1～3回、月に1～3回と答えた生徒の割合は、全国よりも多い。

●「1・2年の授業で、自分の考えをまとめる活動を行っていた」にあてはまらないと答えた生徒の割合は、全国よりも2.4%多い。

●「1・2年の授業で、自分の考えを発表する場面で、工夫して発表していた」について発表していた生徒は4.6%、どちらかと言えば発表していた生徒は7.0%全国よりも少ない。

●「先生は、間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」にあてはまると答えた生徒の割合は、全国よりも4.4%少ない。

○「平日の1日あたりSNSや動画視聴をする時間」は、2～3時間が最も多い。4時間以上は8.9%、3～4時間は4.8%全国よりも少ない。

○「1・2年の授業で、自分で考え、自分から取り組んでいた」にあてはまると答えた生徒の割合は、全国よりも2.1%多い。

○「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」に、あてはまると答えた生徒の割合は、全国よりも4.2%多い。

○「学習した内容について見直し、次の学習につなぐことができている」にあてはまると答えた生徒の割合は、全国よりも1.8%多い。

○「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる」にあてはまると答えた生徒の割合は、全国より3.1%多い。

○「1・2年の授業でのICT機器の利用」では、1日に複数の授業でほぼ毎日、1日に1回くらいの授業でほぼ毎日、週3回以上と答えた生徒の割合が、全国よりも多い。

・授業以外の学習時間：平日は1～2時間が41.3%

土・日は1～2時間が25.2%、2～3時間・1時間以下ともに17.5%

※IRTとは、PISA、TIMSSなどの国際的な学力調査や、TOEIC・TOEFLなどの英語資格や検定試験で採用されているテストの方法。この方法を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさしで比較することができる。

※IRTスコアは、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表している。